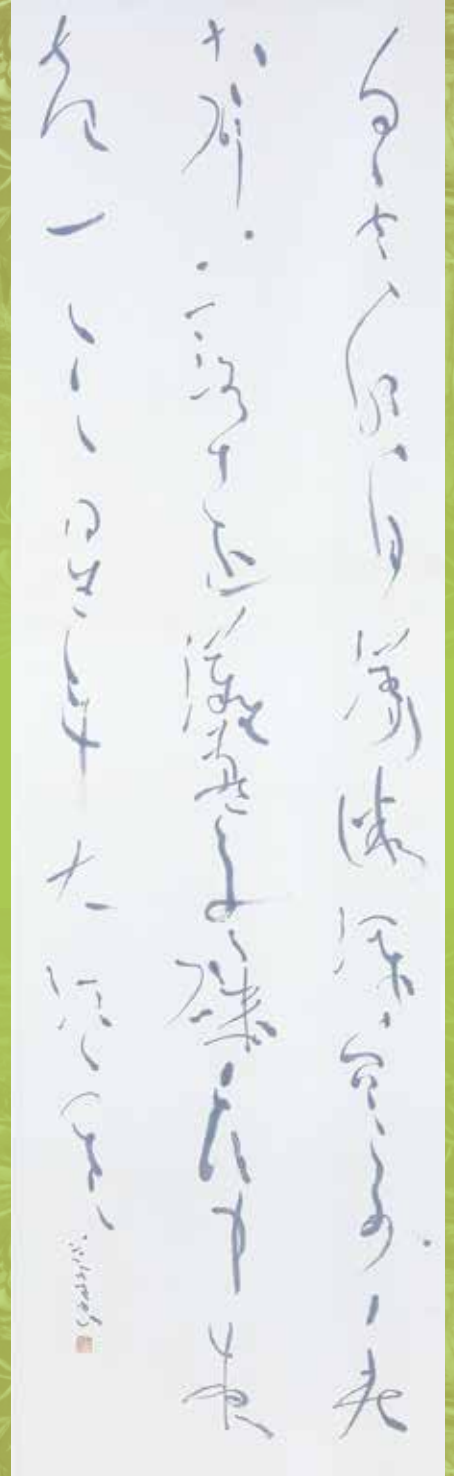
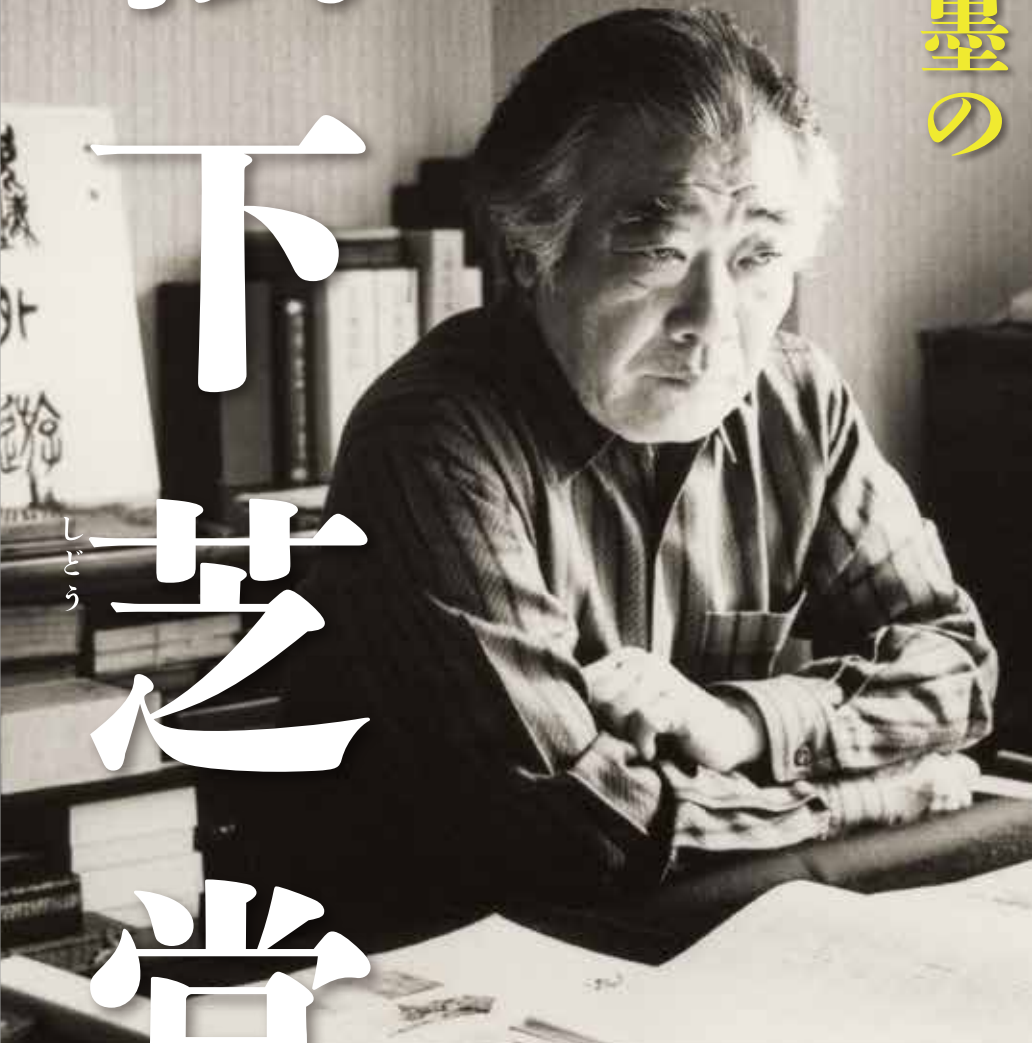


道風記念館
企画展

美しき淡墨の
書の世界

まつした
松
下
芝
堂
しげむら



「江行」(豊橋市美術館蔵)

会期 令和4年

10.21[金]—11.20[日]

開館時間 午前9時～午後4時半

休館日 月曜日

観覧料 一般100円、高校・大学生50円、中学生以下無料

※新型コロナウイルス感染拡大状況により、
開館日や開館時間などが変更になる場合があります。
ホームページなどで確認の上ご来館ください。



春日井市道風記念館

〒486-0932 愛知県春日井市松河戸町5丁目9番地3
TEL 05668-82-6110
<https://www.city.kasugai.lg.jp/shisetsu/bunka/tofan/index.html>

松下芝堂（一九二六〜二〇〇九）は愛知県豊橋市で生まれ、中部書壇の重鎮として活躍した書家です。

戦後、幼少から憧れていた国定教科書揮毫者で愛知県出身の書家、鈴木翠軒（一八八九〜一九七六）の門を叩きました。幅広く古典を学ぶ中で、若くは貫名松翁の書を収集、そして空海三十帖策子、王羲之黄庭経、鍾繇薦季直表、かなは伝西行筆一条撰政集、良寛の書を特に学び、それらを基にした瑞々しい書作品を発表しました。「書は遊びです。その遊びに徹する。だから書を書くことが非常に楽しいですよ。」と言ひ、「きばらない書がいいですね。さらっと書いてみたいですね。」と、自然体で書作に臨むことを大切にしました。

鈴木翠軒の代表作「万葉千首」の料紙を制作したこともよく知られています。師の細かい注文に応じながら美しい料紙を制作。師の書を深く知るからこそ成し得た仕事であったといえるでしょう。

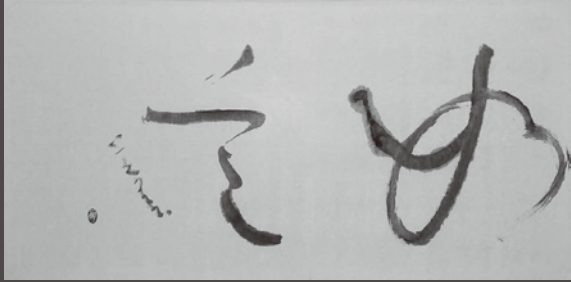
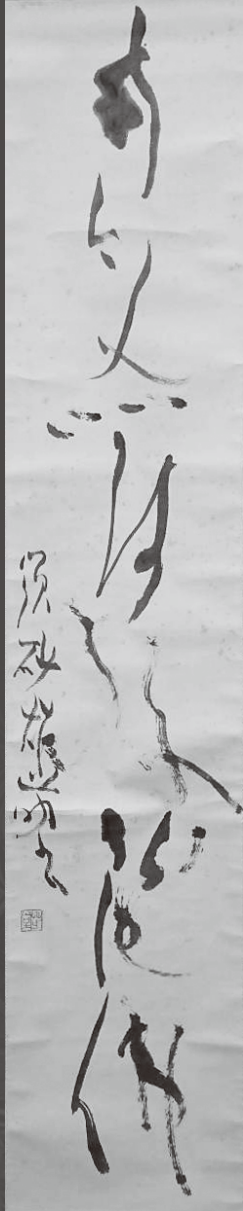
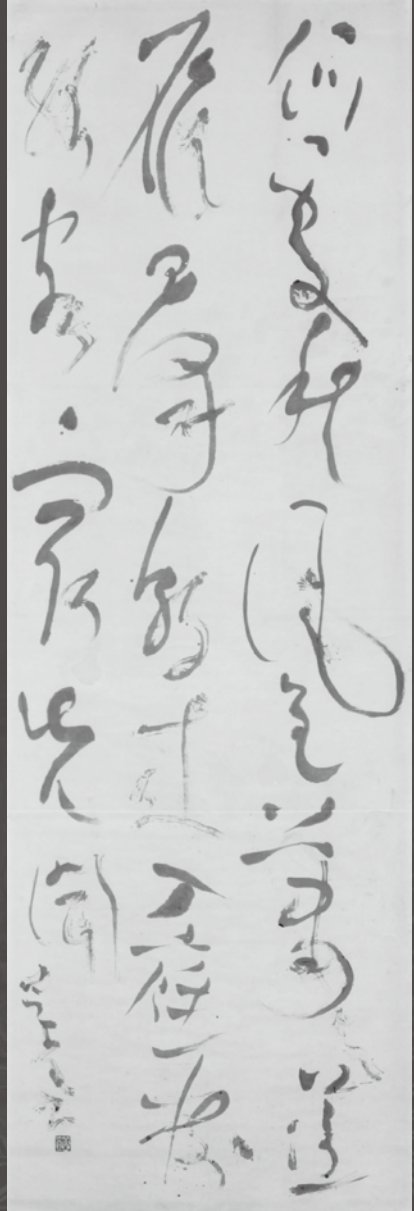
生涯愛知県を拠点として活動をつづけ、日展参事、読売書法会常任総務など数々の要職につきました。中部書壇では、中部日本書道会副会長、興文会会長を務めるほか、有根会を主宰して多くの門人を育て、郷土の書道文化振興に大きく寄与しました。春日井市においては、道風展審査員を長年にわたって務めていただきました。

今回は、第二六回日展で文部大臣賞を受賞した代表作「江行」（豊橋市美術博物館蔵）を始め、淡墨で表現した美しい作品を中心に、松下芝堂の書の世界をご紹介します。

道風記念館
企画展

松下芝堂

美しき淡墨の
書の世界



松下芝堂 略年譜（一九二六〜二〇〇九）

- 大正 15 愛知県豊橋市に誕生。名は須砂雄（すさお）。
- 昭和 22 鈴木翠軒に師事。
- 昭和 30 日展初入選。
- 昭和 34 日展特選、芭竹賞を受賞。
- 昭和 38 日展審査員（以後10回）。
- 昭和 43 日展評議員。
- 昭和 45 有根会を設立。
- 昭和 59 読売書法会理事。
- 平成 6 日展文部大臣賞を受賞。
- 平成 10 日展作品「花下酔」にて第54回恩賜賞・日本芸術院賞を受賞。
- 平成 11 日展常務理事。
- 平成 12 中部日本書道会副会長。
- 平成 14 勲四等旭日小綬賞を受賞。
- 平成 18 日展参事。
- 平成 21 5月25日永眠。享年82。



- ◆JR名古屋駅からJR中央線勝川駅下車、タクシー10分、徒歩30分
- ◆名一環外回りは松河ICから3分、内回りは小幡ICから5分
- ◆JR中央線大曽根駅からゆとりとラインで川村駅下車、徒歩10分
- ◆JR中央線勝川駅または春日井駅からかすがいシティバス南部線で
- JR勝川駅発車時刻 9時40分・12時00分・14時15分
- JR春日井駅南口発車時刻 11時18分・13時33分・15時53分

春日井市道風記念館

〒四八六-〇九三 愛知県春日井市松河戸町五十九之三
電話 〇五六八-二一六一〇
<https://www.city.kasugai.jp/shisetsu/bunka/rofu/index.html>